

首都高速道路株式会社 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	2024年12月9日(月) 首都高速道路株式会社本社会議室		
委員	加藤 一誠(慶應義塾大学商学部 教授) 堀田 昌英(東京大学大学院工学系研究科 教授) 原澤 敦美(弁護士)		
審議対象期間	工事	2024年4月1日～2024年9月30日	
抽出案件	総件数	2件	(備考)
工 事	一般競争	1件	
	指名競争	1件	
	交渉合意	0件	
調査・設計業務		0件	
物品製造等		0件	
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし		

意見・質問	回答(説明を含む)
<p>【前回意見への対応】</p> <p>●意見等なし</p> <p>【契約手続きの運用状況等の報告】</p> <p>●意見等なし</p> <p>【抽出案件の審議】</p> <p>1. 一般競争 技術提案評価方式 「(修)交通管制中央装置工事2024-1-1」</p> <p>●受注者が市場を独占すると今後の更新の際などに競争上有利な立場になり得るが、発注者の立場からリスクをどのように考えていますか。</p> <p>2. 指名競争 見積活用方式(公募・要請併用型) 「(改修)新京橋連結路八重洲地区他試掘工事」</p> <p>●予定価格設定前に競争参加者の見積りについてヒアリングした際、標準価格と実勢価格の乖離が大きかった項目はありましたか。</p>	<p>本工事は、道路交通情報通信中央装置(VICS 中央装置)等の更新を行うものです。</p> <p>●VICS 中央装置は更新周期が長く、その間技術開発が進み仕様内容も変わるため競争原理が働き、1 者が独占するということにはならないと考えています。</p> <p>本工事は、外堀通りにおいて新京橋連結路の構築に伴う、地下埋設物の試掘及び地下埋設物の測量を行うものです。</p> <p>●経費についての乖離が大きく、競争参加者の単価等を確認し積み上げが妥当であると判断して予定価格に反映しました。</p>

意見・質問	回答(説明を含む)
<p>(審議全体を通しての意見等)</p> <p>●案件1 システム更新等の発注において、引き続き競争性を確保するための努力を続けていただきたい。</p> <p>●案件2 見積価格の妥当性を確認する手法について、引き続き検討いただきたい。</p> <p>【苦情処理状況について】</p> <p>●案件なし</p> <p>【競争参加停止等運用状況について】</p> <p>●本事案発生後、当該競争参加停止措置まで時間が経過している理由は何ですか？</p>	<p>●当該事案は他発案件であり、他の公共機関等の指名停止措置に併せ、当社も競争参加停止措置を行ったためです。</p>